

春季大型連休安全推進活動

もうすぐゴールデンウィークです。いよいよマリネレジャーが活発化する時期となりますが、全国では小型船舶の機関トラブルによる運航不能海難や釣り中の海中転落事故などが増加する傾向にあることから、宮城海上保安部では4月27日(金)から5月6日(月)までを重点期間とした「春季大型連休安全推進活動」を展開します。

4月22日(月)には、この活動の一環として、東北運輸局と合同でマリネゲート塩釜観光棧橋において旅客船の安全点検を実施し、塩竈市営汽船が運航する浦戸諸島めぐりの定期旅客船「しおね」(総トン数19トン、旅客定員97名)を対象に、救命設備等がしっかりと備えられていることを確認しました。



(旅客船しおね船内における救命胴衣点検の様子)

なお、本年度は下表のとおり安全推進活動を予定しています。

名称	重点期間	主な対象
春季大型連休安全推進活動	4月27日～5月6日	プレジャーボート マリネレジャー活動者
霧海難防止活動	6月1日～8月15日	各種船舶
夏季安全推進活動 (海の事故ゼロキャンペーン)	7月16日～8月31日 (7月16日～7月31日)	マリネレジャー活動者
秋季安全推進活動	10月1日～10月31日	漁船、漁業者
釣り海難防止活動	11月1日～11月30日	釣り人
冬季海難防止活動	12月1日～2月28日	各種船舶

Water Safety Guide を活用しよう!

Water Safety Guide

- ✓ 自身の健康状態が活動に適しているかを確認しましょう。
- ✓ 事前に天気予報などで気象海象を確認しましょう。
- ✓ ライフジャケットを着用しましょう。

モーターボート 事故防止3つのポイント 1. 免許取得や実習をしよう 2. 乗客乗用による乗客乗用の乗客乗用を厳禁しよう 3. 海上交通ルールを遵守しよう	水上オートバイ 事故防止3つのポイント 1. 免許取得の取得で安全運転を心がけよう 2. 定速走行や急加速急減速を厳禁しよう 3. 同乗者も乗客乗用を厳禁し、トレーニング着を着けよう
遊泳 事故防止3つのポイント 1. ライフセーバーや監視員がいる場所での海泳を厳禁しよう 2. 乗客乗用で子どもから離れよう 3. 救助要請は必ず行おう	スノーケリング 事故防止3つのポイント 1. フライングマスク、スノーケルマスク、マスククリップを身につけよう 2. 乗客乗用は必ず、乗客乗用を厳禁しよう 3. 救助要請は必ず行おう
カヌー 事故防止3つのポイント 1. 海上に出る前に沈没やロールなど、船酔いした際に必要最低限の準備をしよう 2. 出航前に船中の準備をしよう 3. 乗客乗用や乗客乗用を厳禁し、乗客乗用を厳禁しよう	SUP 事故防止3つのポイント 1. 特に怪しい場合は、乗客乗用、乗客乗用50cm未満の乗客乗用で厳禁しよう 2. 乗客乗用や乗客乗用を厳禁しよう 3. 乗客乗用や乗客乗用を厳禁し、乗客乗用を厳禁しよう
ミニボート 事故防止3つのポイント 1. 船酔い防止に注意しよう 2. 乗客乗用や乗客乗用20cm以内の乗客乗用を厳禁しよう 3. 乗客乗用や乗客乗用を厳禁し、乗客乗用を厳禁しよう	釣り 事故防止3つのポイント 1. 釣り現場に合わせた準備をしよう 2. 乗客乗用の乗客乗用は必ず、乗客乗用を厳禁しよう 3. 乗客乗用や乗客乗用を厳禁し、乗客乗用を厳禁しよう

Water Safety Guide

安全に海を満喫するために

JCG 海上保安庁 JAPAN COAST GUARD

「ウォーターセーフティガイド」は、海辺でのレジャーを楽しむための情報や事故防止に役立つ知識を海上保安庁がまとめた総合安全情報サイトです。釣り、遊泳、SUP、モーターボート、水上オートバイ、カヌー、ミニボートやスノーケリングに関して、海に関する知識、利用する乗り物の特性や装備、習得すべき技術、交通ルール等についての情報が掲載されています。ウォーターセーフティガイドの呼びかけをお願いします。

巡視船に描かれている

「S」って何? 教えて! うみまる

S字マークのことだね。巡視船だけでなく航空機にも描かれているよ。昭和59年ころから標示されるようになったんだ。海上保安庁の4つの業務

- ・ Security (領海警備)
- ・ Search & Rescue (捜索救助)
- ・ Safety (安全対策)
- ・ Survey (海洋調査)

と海上保安官のモットー

- ・ Speed (迅速に)
- ・ Smart (カッコよく)
- ・ Smile (笑顔で)
- ・ Service (親切丁寧に)

の8つの意味を込めた「S」を図案化したものなんだよ。

WSG 検索

漁船の海難が多発!!

1月21日及び2月27日、気仙沼市や南三陸町など県内11の漁港において、本州南岸を通過した低気圧の影響による暴風や高波で、係留中の漁船20隻が乗揚げや転覆に至った海難が多数発生しました。

また、多数の養殖いかだの流出も確認され、1月23日には仙台塩釜港仙台区利用船舶の航行安全のため関係者が漂流いかだの回収に奔走しましたが、未回収いかだが多数存在する可能性を考慮し、仙台区を同日日没時から翌朝日出時まで入出港禁止としました。

この事態を受け、宮城海上保安部では、県などの関係機関と連携し、漁船海難等防止に向けた更なる取り組みの準備を始めています。

月	5年平均	R5	R6(速報)
1月	0	1.4	2.0
2月	0	2.0	21
3月	3	2.4	3
4月	4	3.8	4
5月	4.6	4	4
6月	5.2	4	4
7月	6.2	4	4
8月	7.0	4	4
9月	7.4	4	4
10月	9.4	5	7
11月	10.8	7	7
12月	12.6	10	10

海苔養殖いかだの流出も!!